

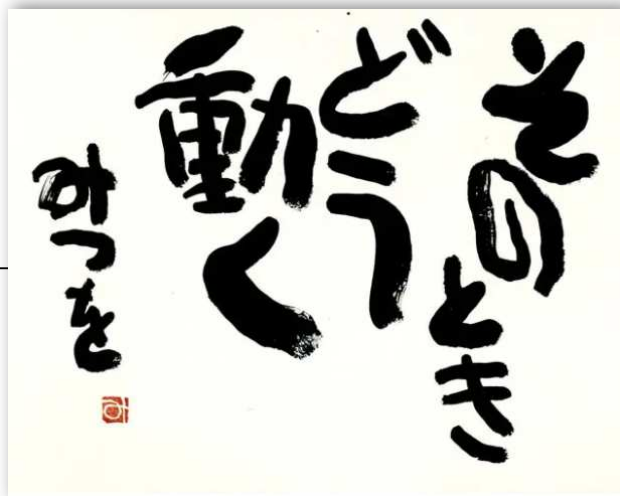
つからの夏休みが終わり、今日から前期後半がスタートします。生徒の皆さんは、充実した夏休みを過ごすことができたでしょうか。さて、今日から学校生活が再び始まりです。12月末まで4ヶ月以上の長丁場となります。残念ながら伝統のF、sは中止となりましたもの、これから様々な



前期後半スタート

校長 前川 茂

普段の学習活動はもとより、一つ一つのことにはしっかりと向き合い自分を成長させていってほしいと願っています。そのためにも、「先見の明」せんけんのめいを持つて事にあたるこ



ことがありません。生徒の皆さんが抜き、自分にとって適した行動をするために、適切な判断を下す力」という意味です。適切な判断をするためにも、今の自分がどういう状況であるかを正しく見つけることが必要となってきました。

先見の明

は、これから起こる出来事を見抜き、自分にとって適した行動をするために、適切な判断を下す力」という意味です。適切な判断をするためにも、今の自分がどういう状況であるかを正しく見つけることが必要となってきました。

【新しい教諭が配置されます】

新型コロナウイルスの拡大は、日本中の小中学校に甚大な影響を及ぼしています。文科省では、それらに対して様々な施策をしています。その施策のうち「**子供たちの学び保障**」の一環として、本校に新たに教諭一名、学習支援員一名（予定）が配置されることになりました。本校として、教員の増員を最大限に生かし、生徒たちの学力向上を推進していきます。そのために「数学科」の指導体制を変更することにしました。よろしくお祈いします。

- 本日より新たに着任する教諭 板木 奈穂子
- 担当教科 全学年数学

○1・3年生の指導体制（予定）

- 1年：各学級を3コースに分け、12名程度の少人数習熟度学習を実施します。
- 3年：各学級を3コースに分け、10名程度の少人数習熟度学習を実施します。
- 2年：TT指導において最大教諭2名、支援員3名を配置するなどし、学力の向上を図ります。

○コースの選択については、生徒の希望を最優先し実施します。また、途中で若干の変更等の可能性もあります。よろしくお祈いします。

※詳細については、後日配布するお知らせをご覧ください。

す。そして、それを「**ばね**」にどう動くのか。人生は、そのときどき「**動くか**」が大切です。3年生にとっては、これから「**進路選択**」という人生の岐路が待っています。大きなことありますが、毎日のほんのちよつとした出来事に対して「**どう向き合い、どのように動いていくか**」が重要ですよ。

義務教育の目的は、**社会において自立的に生きるための基礎を培う**ことです。大人への成長の過程にある生徒が自分の力で考え、行動することが出来るように学校として「陰になり日向になり」保護者の皆さん・地域の皆さんと共に子供たちを育んでいきます。前期後半もよろしくお祈いします。